

地域に呼びかけ、ともに取り組んで

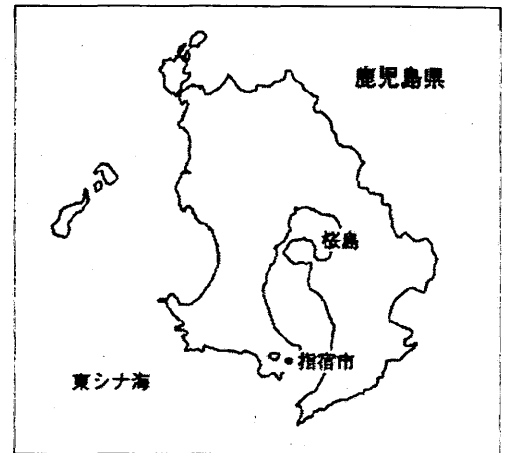
— 虹のかけ橋、子供たちへのプレゼント —

指宿市漁協婦人部
部長 中村 ミチ子

1. 地域と漁業の概要

私たちの住む指宿市は、鹿児島県薩摩半島の南東部に位置し、薩摩富士とも呼ばれる開聞岳や池田湖、砂むし温泉などの観光地として知られ、最近では、指宿菜の花マラソンでも有名である。(図1)

市内には、指宿市と指宿市岩本の2漁協があり、私たちの指宿市漁協は市南部に位置し、正組合員52名、准組合員75名、計127名で、主な漁業種類は一本釣り、建網、延縄、小型定置、養殖、まき網などであり、平成9年度の水揚げ量は、1,662トン、総水揚げ金額は約10億3千万円である。



【図1】位置図

2. 組織と運営

指宿市漁協婦人部は、昭和52年10月に発足し、現在部員53名で活動している。

主な活動内容は、共済、貯蓄推進など漁協事業への参画はもとより、環境保全運動、簡素化運動にも力を入れ、魚食普及として魚料理講習会で、母親には魚のさばき方、子供にはバイキング方式で栄養バランスを考えた食材選びなども学習させたりしている。また、「年間行事計画」「婦人部だより」(年2回)を発行したり、「健康づくりふれあいの集い」として軽いスポーツを行うなど、部員間の交流を大切にしながら活動を展開している。

3. 活動課題選定の動機

第1は、冠婚葬祭における交際費の簡素化である。昭和60年頃、地域では冠婚葬祭の付き合いが年々派手になり、お通夜に顔を出すだけでもお弁当(1,000~1,500円程度)が届き、それが地区内外を問わず、約100~200個も配布されていた。さらに何十年忌までも弁当の配布が行われ、このままでは家計に支障を来すと常々感じていた。年忌がある度に老人同志が相談し合い、年金の中から2~3千円を支出している姿を見かけることも多かった。私たち漁協婦人部が行っている簡素化運動を地域へ広められないものかと思っていた。以前一度、婦人部で地区の公民館長に相談してみたことはあった。そのような中、昭和62年、私は漁協婦人部の監事と地区婦人会会長、地区PTAの役員を同時期に務めることになった。そこで「簡素化運動を進めるのは今しかない。この3つの役を活用し、パイプ役となり広げていこう。」と、思いきって行動に踏み切ることにした。

第2は、環境問題の啓発である。環境保全上海の果たする役割は大きく、海的环境保全は私たち漁業関係者だけの問題でなく、地域社会においては住民一体となった活動展開が求められる。私たちは、地域活動や市長と語る会など各種団体の会合にはできるだけ参加して、環境保全について話をするようにしていた。

4. 活動の状況及び成果

4-1 簡素化への取り組み

(1) 地元（湊北地区）への推進

① 婦人会への働きかけ

私たちの住む湊区は、湊北・湊上・湊中・湊南の4地区に分かれ、その中の湊北が私の地区である。地区に各々各種組織（老人会・婦人会・PTA等）がある。（表1）

まず、会長職を務めていた婦人会に働きかけてみた。「やってみたい。でも地区全体で取り組まなければうまくいかないだろう。特に老人の方々の賛同が何より必要である。賛同が得られるだろうか」との意見が出された。PTAの役員会でも同様であった。

老人の方々への働きかけには仲介役が必要と思い、厚い信望を寄せられていた公民館長にお願いすることにした。館長は婦人会やPTAの役員会に顔を出し、簡素化については聞いており、前向きな考えを持っておられた。

② 老人会への働きかけ

館長より、老人会の総会で話す機会をいただいた。昔からの地域のしきたりを守り継承してこられた老人会の方々に意見することは、勇気のいることであった。理解してもらえるかどうか不安で震えを押さえながら、「みなさんは、裕福な生活をなさっているでしょうが、中には年金生活を強いられている方もいらっしゃると思います。若ければ働けるけど、老いてからは働いて交際費をひねり出すことは難しいですよ。決して交際をないがしろにしているのではなく、大いにしましょう。ふれあいを大切に、長くお付き合いを続けるための簡素化です。そのためには、無理、無駄のないものにしていかなければならないのではないのでしょうか。後に続く子供や孫のため、今勇気を持ってこの簡素化運動に踏み切りましょう。」と尊敬と優しさを心がけて説得した。

忍耐強く働きかけなければならぬと思っていたが、熱意が伝わったのか、自分たちも日頃見直さなければと思っていたのだろうか「どこかで実績があるのか」「お返しはいくらにすればよいのか」などの質問が出た。具体的に漁協婦人部の取り組み状況を説明したところ、言いようのない沈黙の後、「やってみようか」という返事が返ってきたのである。このときの感激は今でも忘れられない。老人会の賛同を得たこともあり、館長の音頭のもと地区全体で実践することになった。

(2) 地域（湊区）への推進

事はトントン拍子に進み、館長が「これは湊区全体に広げていこう」と湊区内の全館長に呼びかけてくださり、湊区全体の総会へ招かれ協力をお願いしたところ、湊区全体で取り組むこととなった。実践内容については各団体に任された。しかし、なかなか変化の兆しが見えず、あまり従来と変わらなかった。お通夜においては、千円程度のお菓子を持参する人がおり、それに対して弁当が配られた。そのため、500円程度としてみたがそれでも配られるといった状態であった。

関係者の間に「気運が盛り上がっているこの時期を逃せば元に戻ってしまう。進めるのは今しかない！」という気迫が感じられた。再度、館長、老人会などで協議し、「何か持っていくからお返しがあるんだ、何も持たず真心の込められた言葉を持っていこう」と手ぶらで行くことが決まった。その後、漁協婦人部の実践内容（図2）を参考にし、見舞い千円、香典千円で、お返しは「一切無し」などが盛り込まれた「湊区民運動推進実践事項」（図3）を取り決め、地域全体へ配布した。

この反響は大きく、地域のいろいろな方から家庭で話題に上るということをよく耳にした。ただ、いざ決めても実行することは容易ではない。まもなく、湊区の役員の身内の方が亡くなられた。「役員がしないで誰がするのか」と簡素化（弁当配布や香典のお返しは無し）での葬式を行った。うまく進むかはスタート時が肝心であるが、最初に実行することはとても勇気のいることであり、地域のリーダー自らが実践してくれたことに感謝すると共に大きな励みとなった。

漁協婦人部が進めている運動であり、取り決めが守られるよう婦人部員が積極的に取り組んだ。葬儀が行われる時には、簡素化を勧めたり、お返し廃止のし袋（県漁婦連の活動）の利用を推進した。また、地域内の人からいただいたお返しを返しにいくこともあった。

実践当初は多くの方々が「法事は、どのように線引きすればよいのか」などの相談にいられた。それに対して的確な回答をすることは難しく、「親戚関係は別とし、故人の付き合いによって違うので、生前故人がお世話になった方を故人の立場に立って線引きをしたらどうか」とアドバイスした。

4-2 環境問題の啓発

“廃油による石けん作り”は、地域住民や他団体に対しても呼びかけ、作り方の指導や配布を行った。好評を得てスポーツ少年団の親から「頑固な汚れが落ちる」とか、近所の方からも「今度作る時は教えて」などと声がかかるようになり、少しずつ石けん普及の輪が広がっていった。何度も実習を重ねるうちに、漁協も婦人部の活動に対してさらに理解を深めてくれ、市から漁協へ「一般市民に対して何か貢献しているものはないか」との問い合わせがあった際、婦人部の“廃油による石けん作り”を推薦してくれた。漁協からの後押しもあり、平成6年より、市の生涯学習講座（表2）で、年1回一般市民を対象に石けん作りの指導と配布を行っている。

また、漁協周辺のゴミ箱設置の提案もした。年3回、漁協周辺の清掃を行い、“ゴミは持ち帰りましょう”との看板はあっても、ゴミは捨てられていた。近年、漁協周辺が整備され、近くに公園（太平次公園）もでき、市民の憩いの場となった。弁当箱や缶などの入ったビニール袋が草木の横などに捨てられ、犬や猫が食い荒す。空き缶はそのまま残るが、ビニール袋などは風で海に飛ばされ、スクリュウに巻き込んで故障の原因になり、海の汚染にもつながる。そのため太平次公園にゴミ箱を設置し、市の方で回収してくれないものかと思っていた。平成8年3月、「市長と語る会」の中で、ゴミ箱の設置を提案した。「公園の管轄が、県もしくは市のどちらかという問題があるでしょうが、どちらにせよ公園を利用するのは指宿市民ではないでしょうか」と発言したところ、市長より、「早速持ち帰って検討してみる」という快い回答であった。その後、「ゴミ箱を置くと景観が損なわれる」とか、「誰が回収するのか」などの意見も交わされたいが、6月には市がゴミ箱

を設置（５個）し、回収については地域老人会へ助成し、委託された。毎朝のゲートボールの練習の後に回収するなど現在も継続され、周辺に捨てられるゴミはかなり少なくなってきた。漁業者自ら環境保全に努めるため、組合員に対しては、船からのゴミは持ち帰るよう協力を求め、漁船へのゴミ箱設置を呼び掛けている。

5. 波及効果

簡素化運動は地道な活動であり、定着するまで部員一丸となって取り組んだ。自分たちの小さな活動が地域へ貢献できたことで、部員の団結も強くなっていった。

このような運動の実績や成果は見えにくいですが、完全とまではいかないまでも、以前のような派手さはほとんどなくなり、みんなの心の中にも“派手にはしない”というのが浸透してきた。それは私自身も実感している。やむを得ない事情もあり、決められた金額を守ることは難しいという現実もある。ただ派手にしないという精神を忘れず、できるだけその金額を維持することが大切である。最近では、地域に嫁いだ女性が、地域の習慣について助言を求めてくることがあり、若い主婦とのよい交流の機会となっている。

環境保全運動を続けるうち、平成８年、生活改善グループより指宿地区生活改善グループ活動交換会の中で「漁家による海を守る生活環境づくり」について発表して欲しいとの依頼があった。地域への運動展開の絶好のチャンスと思い、森と海のつながり、廃油石けん作り、ビデオ放映による合成洗剤の怖さなどについて述べ、海を取り巻く環境全体での保全運動の大切さについて訴えた。皆、真剣に聞いてくれ、とてもよい反応だった。

また、平成９年、揖宿市郡生活改善グループの総会での発表依頼があった。身近な問題を取り上げ「今私たちにできることは」として発表した。その後、出席していたグループより“廃油による石けん作り”を学びたいとのことで、実習を行った。また、総会に出席していた県生活改良専門技術員が、他の地域（甕島）のグループが探していた実践事例として、私たちの取り組みを推薦してくれた。そのグループが訪問し、“自然にやさしい環境づくり”をテーマに各家庭からの廃油処理などについて意見交換し、交流を深めた。

6. 今後の計画と問題点

めまぐるしく変化する社会経済情勢や生活環境の中、慶弔費の見直しを検討する時期にきていると思う。ただ、運動を始める前のように派手にならないよう漁協婦人部が歯止め役となり、一層運動の輪を広げていきたい。

設置されたゴミ箱についてはゴミ分別までしてもらえるように働きかけていきたい。海は決して漁業者だけのものではなく、みんなのものである。きれいな海は子孫への財産であり、そのことを一人でも多く理解してもらえるよう環境問題の啓発を続けていきたい。

活動を地域へと展開するとき、何よりも大切なのは、日頃からの地域とのふれあいである。日常の付き合いがあるからこそ、理解、協力がもらえる。これからも地域との関わりを大切にし、地域に根ざした活動を目標に取り組んでいきたい。

私たち婦人部員一人ひとりの活動の源は、家族が心身共に健康なことである。今朝も海の男たちを乗せて船は出航した。私たち女性は、無事を祈りながら見送り、笑顔で「お帰りなさい」と迎えられるよう、家族を守りながら海と陸との絆の歯車をしっかりと回し続けるよう努力している。

【表1】地区別世帯数及び各組織

地区	世帯数		地区内各組織
	平成元年	平成10年	
北	143	115	公民館、PTA、老人会、婦人会
上	280	165	〃
中	138	93	〃
南	159	130	〃
計	720	503	

【図2】
漁協婦人部実践内容

漁協婦人部の皆様 生活簡素化に
努めましょう
お見舞一戸円
香典 一戸円
お通夜 五百円(菓子代として現金にする
年忌は身内だけにして、決して品物を
配らない事
見舞や葬式のべんとうのお返しは絶対に
しない事
以上がきまりましたので固く守って下さい
昭和62年3月24日

【図3】
湊区民運動推進実践事項

湊区民運動推進実践事項

1. 見栄をすて、勇気を出して、簡素化に努めましょう。
2. 葬儀の花輪は自粛しましょう。
3. 病氣見舞のお返しは、ハガキで挨拶をすませましょう。

結婚祝	10,000円以内
病氣見舞	1,000円程度
香典	1,000円お返しなし

お通夜の野菜代なし。弁当を配らない。年忌のお菓子は配らない。

昭和63年7月1日

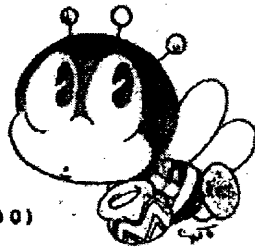
湊区公民館
〃 老人会
〃 婦人会
〃 青年会
〃 P T A

【表2】市の生涯学習講座

生涯学習情報

(平成9年度前期：4月～9月)

**あなたも参加
しませんか!**



※ お問い合わせは、生涯学習情報センター（南考古博物館内：23～5200）か、主催者にお尋ね下さい。

日 期	事業名	事業内容	時 間	会 場	主 催	対 象
12 土	美術 展 覧	ビグ・イ・ド・ト・グ・ア・ノ・ル・ニ・ル・ニ・ル・ニ・ル	14:30-16:00	岩崎美術館	岩崎美術館	小中高一般
21 日	ビデオアニメ鑑	ビデオアニメの上巻	14:00-15:00	市立図書館	市立図書館	絵・読・聴
29 火	CoCCo名画鑑賞会	『イタリヤの夜』新上映会(4004)	9:00-17:00	市立図書館	市立図書館	社会教育課 一般市民
29 火	CoCCo名画鑑賞会	『音楽』フー・テ・ノ・ス・主	10:00-21:00	市立図書館	市立図書館	社会教育課 一般市民
4月30 日	絵巻 桂月四季二巻	絵巻 桂月四季二巻	9:00-18:00	岩崎美術館	岩崎美術館	小中高一般
29日～	CoCCo名画鑑賞会	『音楽』フー・テ・ノ・ス・主	9:00-17:00	市立図書館	市立図書館	社会教育課 一般市民
中 旬	産婦女性部のつどい	産婦女性部会	9:30-12:00	産婦事業本部	産婦事業本部	女性部員

【5月】

3 土	CoCCo名画鑑賞会	『音楽』フー・テ・ノ・ス・主	10:00-21:00	市立図書館	市立図書館	社会教育課 一般市民
3 土	CoCCo名画鑑賞会	『音楽』フー・テ・ノ・ス・主	10:00-15:00	市立図書館	市立図書館	社会教育課 一般市民
4 日	CoCCo名画鑑賞会	インターネット入門講座 編	11:00-15:00	市立図書館	市立図書館	社会教育課 一般市民
4 日	CoCCo名画鑑賞会	インターネット入門講座 編	10:00-14:42	市立図書館	市立図書館	社会教育課 一般市民

月	事業名	事業内容	時間
7月	天然石けんづくり	廃油による石けんづくり	10:00～12:00

会 場	主 催	対 象
漁村センター	市漁業協同組合	一般市民

28～	テニス 教 室	テニス (28, 108, 178, 248)	14:00-16:00	市総合体育館	保健体育課	一般市民
31日～	ターゲットバードゴルフ	ターゲットバードゴルフ	10:30-21:30	市立図書館	市立図書館	一般市民
18～	子ども 教 室	子どもにやさしい読書講座	9:00-10:00	岩崎美術館	岩崎美術館	一般市民
25, 21日	子ども 教 室	小・中学生向け読書講座		岩崎美術館	岩崎美術館	小中高生
7 月	ふるさとを興す学習大会	教育・福祉等に対する学習	9:00-16:00	市民会館	市民会館	婦人一般
7 月	高齢者音楽無料教室	高齢者音楽教室	9:00-15:00	高齢者会	高齢者会	一般市民

【8月】

3 日	いぶきせシルバークラウド	いぶきせシルバークラウド	9:00-17:00	市立図書館	市立図書館	一般
13 水	中高生ふるさとをつどい	中高生ふるさとをつどい	9:30-17:00	市総合体育館	保健体育課	小中高生
17 日	校 区 運 動 会	校 区 運 動 会	8:30-16:00	市立図書館	市立図書館	一般市民
17 日	校 区 ソフトボール大会	ソフトボール大会	8:00-16:00	市立図書館	市立図書館	一般市民
23 土	考古学セミナー	考古学を中心とした講座	15:00-18:30	市立図書館	市立図書館	一般市民
24 日	ビデオアニメ鑑	ビデオアニメの上巻	14:00-15:00	市立図書館	市立図書館	絵・読・聴
25 日	貝植物昆虫名付け会	貝植物昆虫の名付け	9:00-16:00	市立図書館	市立図書館	小中高一般